



2019年3月11日



広島大学

SANFRECCE  
HIROSHIMA FC

## 第5弾

3月17日(日) エディオンスタジアム広島で啓発活動

サンフレッチェ広島とのコラボレーション  
～てんかんへの正しい理解の普及を～

広島大学病院(てんかんセンター)は、3月17日(日)エディオンスタジアム広島で、てんかん疾患啓発活動の第5弾を行います。

世界的なてんかん疾患啓発活動である「パープルデー(Purple Day)」は、毎年3月26日です。パープルデーとは、紫色の物を身に着けて、てんかんに正しく知ってもらおうという運動です。

広島大学病院(てんかんセンター)は2016年9月から、紫をチームカラーとするサンフレッチェ広島とコラボレーションをして、てんかん疾患の啓発活動に取り組んでいます。

広島大学病院(広島県がてんかん診療拠点機関に指定)がサンフレッチェ広島とコラボレーションすることで、一人でも多くのサポーターやそのご家族に、てんかんに対する正しい理解を持っていただけ、てんかん患者さんが過ごしやすい社会の実現をめざします。



つきましては、下記のとおり、3月17日(日)、サンフレッチェ広島対松本山雅FC戦において、11時からてんかん疾患啓発活動を行います。エディオンスタジアム前広場に啓発ブースを設置し、缶バッチの配布や寄せ書きなどを行います。

# 記

日時：2019年3月17日（日）11時から  
場所：エディオンスタジアム広島 お祭り広場  
啓発活動：缶バッチの配布、啓発資料の配布など

以上

世界に広がる  
「てんかん」啓発  
キャンペーン

# PURPLE DAY

パープルデーとは?

毎年3月28日にてんかんへの関心、意識を高めるために、紫色の服を着つけ、世界中で活動が行われています。  
パープルデーは2008年、カナダの当時9歳だったキャンディー・オーガンさんによって始められました。ラベンダーのパープル(紫)がてんかんの国際的イメージであったことからパープルデーと名付けられました。キャンディーさん自身がてんかんに苦しんでおり、病気についての誤解を解くために話し合い、世界中のてんかんを持つ人が「自分たちは決して一人ではないんだ」と知ってもらうとともに、一般の人たちにもてんかんに関する正しい知識を広めることを目的としています。

案をチームカラーとするサンフレッチェ広島と広島大学病院(てんかんセンター)がコラボレーションをして、てんかん疾患の啓発活動に取り組みしています。

**SANFRECCHE** × 広島大学病院てんかんセンター  
HIROSHIMA FC

0919 620



(啓発活動の様子・2018年3月)

【本件に関するお問い合わせ】

広島大学病院 てんかんセンター事務局 島崎 亜哉  
TEL 082-257-1719 fax 082-257-5229

【本件報道に関するお問い合わせ】

広島大学病院  
特命広報・調査担当役 菅川(すげかわ) 幹人  
TEL 082-257-5418 fax 082-257-5087